

車両の紹介

5501編成 ロングシート・鋼製



運行開始
(1984年3月18日～)

青と白のツートンカラー

足柄平野の青空と
山間に咲く可憐な山ユリを
イメージ



赤電復刻カラー
(2016年10月1日～)

朱色とベージュのツートンカラー

大雄山線開業90周年を記念し、
5000系の導入前に活躍していた
「赤電」カラーに塗装



天狗電車
(2023年9月6日～)

天狗色（朱色一色）

大雄山線開業100周年を記念し、
大雄山最乗寺をイメージした
カラーに塗装

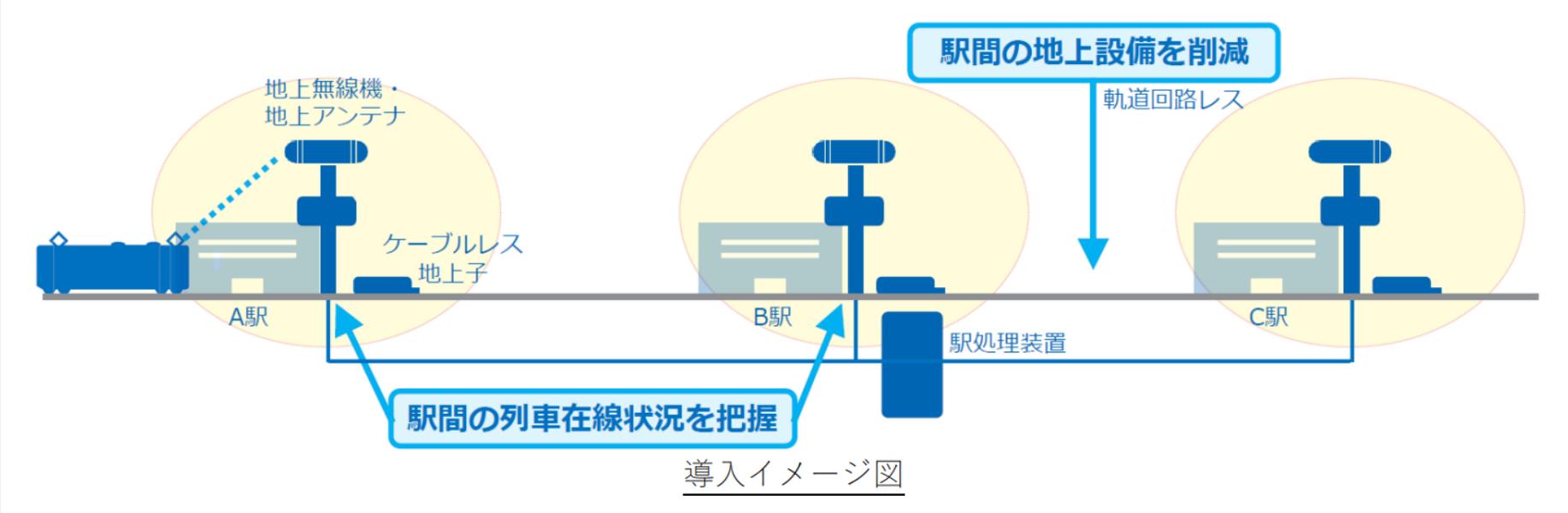
車両の紹介

5502編成 5502編成以降、ステンレス製 運行開始（1986年2月16日～）

5502編成にCBTC車上アンテナが設置されている

無線式列車制御システム（CBTC）

- 無線技術を活用した列車制御システム
- 駅や駅間の信号制御に関する設備の削減が可能になり、保守の省力化、運用コスト削減を実現
- 2031年度にシステムを導入予定



車両の紹介

さがみ信用金庫コラボ

【さがみ信用金庫】

1925年10月20日に関東大震災からの
復興支援を目的として設立

今年100周年を迎える点が
大雄山線と共通していたため、
コラボレーション電車を
4月1日より運行

【車両】 5502編成

※ 6月19日～9月12日 5507編成



小田原駅側



大雄山駅側



ドアラッピング

車両の紹介

5503編成

運行開始（1987年12月19日～）



「オレンジトレイン」

（2024年8月29日～）

大雄山線開業100周年を記念し、
小田原市の特産品である柑橘類を
イメージしたオレンジ色に塗装

5504編成

運行開始（1989年5月30日～）



「イエロー・シャイニング・トレイン」

（2019年4月4日～）

コデ165の塗装を変更したことにより、
大雄山線に黄色の電車が存在しなくなったため、
黄色に変更

お客さまや地域の皆さまの生活に幸せ・
温かみ・輝きを与えられることを願い命名

車両の紹介

5505編成 中間車両セミクロスシート

運行開始（1990年7月20日～）



「ミント・スペクタクル・トレイン」

（2019年9月26日～）

「平成」から「令和」に時代が変わり、
緑色に塗装

5000系導入時、赤色と緑色が車体の候補
カラーとして挙げられ、
デザイン画も作成された
色鮮やかで壮観であることから命名

5506編成 全車両セミクロスシート

運行開始（1993年9月25日～）



「春めき電車」

（2025年4月4日～）

大雄山線開業100周年を記念し、
南足柄市の一般財団法人「春めき財団」
古屋富雄理事長により品種登録された桜
「春めき」をイメージしたピンク色に塗装

車両の紹介

5507編成

運行開始（1996年3月19日～）



「**リンドウ電車**」

（2024年4月5日～）

大雄山線開業100周年を記念し、
南足柄市の花「リンドウ」を
イメージした紫色に塗装

コデ165



工事専用車両で、鉄道車両の牽引や
夜間作業の際に使用

車体色は黄色に酒匂川をイメージする
斜めの青いラインで活躍していたが、
2018年にデビュー当時（1928年）の
国鉄カラー（ぶどう色2号）に塗装

車両の紹介

デハ1号車
デハ2号車

製造: 1925年10月
製造所: 雨宮製作所

デハ3号車

製造: 1925年11月
製造所: 鶴見木工

デハ11号車

製造: 1929年6月
製造所: 日本車輛

元: 武蔵中央電気鉄道
1形13号



◀ モハ16

三島広小路駅付近～沼津駅を走っていた
軌道線（路面電車）に転用された

モハ15形15
モハ15形16

モハ15形17

モハ8形8

車両の紹介

木造車両で上下が明るい緑色、中間が淡い黄色

モハ20形 (21~26)

【モハ21・モハ22・モハ24】

製造年:1911年 製造所:新橋工場

【モハ23】

製造年:1959年

製造所:自社工場で改造

【モハ25】

製造年:1961年 製造所:日本車輛

【モハ26】

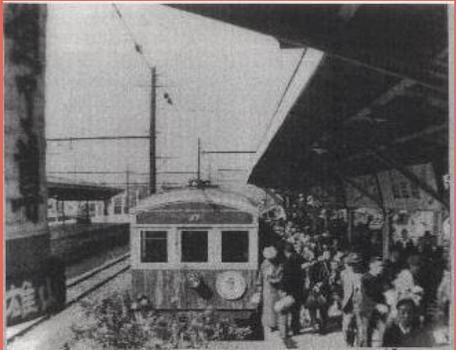
1964年 国鉄から譲渡
モハ32を改造し、クハ18形に

モハ30形 (31~37)

製造:1911年

製造所:新橋工場

国鉄⇒目黒蒲田電鉄
⇒駿豆鉄道⇒
大雄山線



- ▲ モハ37
旧国鉄6278
目黒蒲田電鉄
デハ38
- ◀ モハ21
旧国鉄デハ
6280形
6281

車両の紹介（鋼製）

モハ40形（45～48）

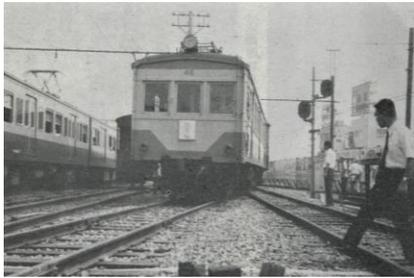
元:伊那電気鉄道 鋼製車両
製造年:1911年

【モハ45】

製造所：汽車会社

【モハ46・モハ47・モハ48】

製造所:新橋工場



▲モハ40形46
旧国鉄モハ30004
⇒モハ11000



▲モハ40形47
旧国鉄クハ5862

伊豆箱根鉄道総務部総務課広報担当

モハ66形（モハ66）

元:国鉄クモハ12000
製造:1927年

運行開始（1968年～）

駿豆線で使用した後、大雄山線へ

1992年 形式をコデ66に変更

1997年 廃車



◀モハ66（左）
旧国鉄クモハ12000

車両の紹介

モハ163

元:相模鉄道モハ2021
製造:1928年
製造所:汽車会社

モハ164

元:相模鉄道モハ2007
製造:1930年
製造所:汽車会社

クハ185

元:相模鉄道クハ2509
製造:1926年
製造所:川崎造船

運行期間（1974年～1996年3月13日）

相模鉄道から元国鉄の車両を購入し、大場工場で整備され、大雄山線で活躍した



◀モハ163



◀記念乗車券
モハ163の
写真使用

車両の紹介

モハ165

元:相模鉄道モハ2024
製造:1927年
製造所:田中車輛

クハ187

元:相模鉄道クハ2510
製造:1928年
製造所:川崎造船

モハ166

元:相模鉄道モハ2010
製造:1926年
製造所:日本車輛

修善寺駅に留置された後、
大雄山線へ

運行開始（1976年～）
相模鉄道から元国鉄の車両を購入し、大雄山線で活躍

廃車（1996年10月15日）



1997年 コデ165に



クハ187
さよなら150系お別れ式

伊豆箱根鉄道総務部総務課広報担当